

■ 要旨まとめ(資料①+資料②)

山田 和人(大館 RC)

1. ロータリー道徳律(資料①)要旨

● 根本精神

ロータリー道徳律は、ギリシャ的な「自我保全」ではなく、「愛の精神」を基盤として構築されている。

「ロータリアンはひたすら自我保全の権利を主張するものではなく、他人を滅ぼすよりは寧ろ他人に滅ぼされんことを選ぶ」(資料①)

● 目的

- ・ 職業を通じて社会に奉仕する
- ・ 正義と道徳に基づく成功を求める
- ・ すべての関係者が等しく潤う取引を行う
- ・ 友情を最大の資産とし、利益目的で濫用しない
- ・ 不当な機会利用や道徳的に問題ある行為を拒否する
- ・ ロータリアン同士を特別扱いしない(協力が本質)

● 価値

保守・進歩といった立場を超え、「有用性」こそが道徳律の存在意義であると説く。

2. 決議 23-34(資料①・②)要旨

● 背景

ロータリー創成期には「親睦・利益派」と「奉仕実践派」が対立。特に、身体障害者養護学校を設立したエドガー・アレンの活動をめぐり、「奉仕は個人か、クラブか」という論争が激化。

第2分科会

ポール・ハリスは両者の調和を図り、1923年セントルイス国際大会で決議23-34が採択された。

3. 決議23-34の核心(資料①・②)

● (第1項)ロータリーとは

ロータリーは人生哲学であり、利己心と他者への奉仕心の矛盾を調和させるもの。

「超私の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

● (第2項)ロータリークラブとは

クラブは奉仕哲学を学び、実践し、広めるための集まりであり、以下の4つを行う：

1. 奉仕の理論を学ぶ
2. クラブ内外で実例を示す
3. 個人として実践する
4. ロータリアン以外にも広める

● (第3項)国際ロータリー(RI)の役割

- 奉仕理念の擁護・普及
- クラブの設立・援助・管理
- 奉仕活動の標準化と情報提供

● (第4項)奉仕の実践

奉仕は「心構え」ではなく行動である。クラブは毎年、地域の真のニーズに基づく主要奉仕活動を行う。

● (第5項)クラブの自治

クラブは奉仕活動を自主的に選ぶ絶対的権利を持つ。RIは助言はするが、禁止はしない。

● (第6項)奉仕活動の準則

第2分科会

- 他団体と競合せず、協力を優先
- 宣伝を目的としない
- 既存機関がある場合は重複を避ける
- 地域全体の責任を喚起する役割を担う
- 個々のロータリアンの参加を重視(クラブ活動は「実験室」)

4. 資料②の視点: 奉仕理念の本質

● 奉仕の理念とは

- 超我の奉仕 (Service above self)
- 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる

つまり、「相手を思いやり、役立つことをする」ということ。

● 決議 23-34 の意義

- 奉仕理念に触れる唯一の公式文書
- 理論派と実践派の対立を解決
- ロータリーの全活動の指針
- 奉仕理念を未来へつなぐ基盤



総合まとめ(最重要ポイント)

1. ロータリー道徳律は「愛の精神」を基盤とし、職業を通じた奉仕と倫理的行動を求める。
2. 決議 23-34 は、ロータリアンの奉仕理念を体系化した歴史的な文書であり、「奉仕とは理論と実践の両輪である」と明確にした。
3. ロータリークラブは、**学び → 実践 → 共有 → 社会への普及** という循環を担う組織である。
4. 奉仕活動はクラブの自治を尊重しつつ、**地域の真のニーズに基づき、他団体と協力し、個々のロータリアンの成長を促すもの**と位置づけられる。
5. 奉仕理念は、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の二本柱で未来へ継承される。

■ 要旨まとめ:2027年 RI 国際大会 開催地決定(バルセロナ)

都 仁洙

■ 2027年国際ロータリー国際大会の開催地が変更

- 2027年の国際大会は、スペイン・バルセロナで開催されることが正式決定。
- 開催日程:2027年6月26日～30日
- 会場:フィラ・デ・バルセロナ(Fira de Barcelona)

「バルセロナ(スペイン)が2027年ロータリー国際大会の開催地として新たに選ばれ…」(資料より)

■ ドバイからの開催地変更について

- 当初予定されていたドバイ(UAE)での開催は変更となった。
- ドバイのロータリアンと関係者への感謝が述べられている。
- 将来のドバイ開催の可能性は引き続き期待されている。

■ ロータリーからのメッセージ

- バルセロナのロータリアンと現地関係者の尽力に感謝。
- 2026年の台北大会、そして2027年バルセロナ大会での参加を呼びかけている。

■ 参考リンク

公式発表: <https://on.rotary.org/4dmA2TK>

要旨まとめ:『ロータリーの友』とは何か

佐藤 志津子(大館 RC)

■ 1. 『ロータリーの友』は国際ロータリーの公式機関誌 (日本版)

- 世界には 30 種類以上のロータリー雑誌が存在し、その日本版が『ロータリーの友』。
- 学びとインスピレーションを提供する雑誌を目指している。

「『ロータリーの友』は国際ロータリーの機関雑誌です」(資料より)

■ 2. 誕生の背景(1953 年創刊)

- 1952 年、日本のロータリーが 2 地区に分割されたことがきっかけ。
- 「お互いの地区のことを知りたい」という思いから、翌 1953 年 1 月に創刊。
- 2026 年で 創刊 73 年。

「分割後も、お互いの地区のことを知っていたいという思いから…発行されました」

■ 3. 国際ロータリー(RI)から認可されるための条件

RI の公式雑誌として認められるため、以下の条件を満たす必要がある:

1. RI が指定する記事を掲載すること
2. RI の方針を伝えること
3. 年 6 回以上、24 ページ以上で発行
4. 内容の 50%以上がロータリー関連
5. 印刷版と電子版の両方を提供
6. 経済的に独立(RI の資金援助なし)

第2分科会

■ 4. 掲載内容の特徴

● RI 指定記事の掲載

例: RI 会長メッセージ、国際方針、公式ロゴの使用ガイドなど。

● RI の方針を伝える特集

例: 環境月間、青少年奉仕月間など。

● 電子版の提供

- ・ 毎月 1 日に更新
- ・ ID・パスワードで閲覧(クラブ幹事・事務局が管理)

■ 5. 投稿に関するガイドライン

● 良い投稿のポイント

- ・ 活動内容が分かる写真
- ・ 会員が写っている
- ・ 笑顔、自然な表情
- ・ 活動日を明記
- ・ 全国の読者に伝わる説明を入れる
- ・ 活動後 1 カ月以内に投稿

● 掲載できない投稿

- ・ 活動から時間が経ちすぎたもの
- ・ 記念例会・式典のみの記事
- ・ 投稿規定に合わない長文
- ・ 誹謗中傷
- ・ 政治・宗教に偏った内容
- ・ クラブや地区のトラブル記事

■ 6. 著作権への注意

第2分科会

- 写真・原稿は著作権で保護されている。
- 他人の著作物を無断使用しない。
- 『ロータリーの友』の記事を使用する場合は編集部へ連絡が必要。

■ 7. 雑誌の役割: 会話のきっかけ・学びの源

- 例会での話題づくりに活用できる。
- ロータリーの理念や世界の動きを学ぶ教材として機能。



総合まとめ(最重要ポイント)

- 『ロータリーの友』は 日本のロータリアンをつなぐ公式機関誌。
- RIの方針を伝え、ロータリーの理念を学ぶための重要な媒体。
- 投稿は「全国の読者に伝わる内容」「活動が分かる写真」「迅速な提出」が鍵。
- 著作権や内容の公平性に配慮しながら、クラブの活動を広く共有する場となっている。

要旨まとめ:新会員向けロータリー基礎資料

淡路 徹 PG(潟上 RC)

1. ロータリークラブとは？

■ ロータリーの本質

- 交流(親睦)と奉仕を目的とする職業人のクラブ
- 例会は「親睦と学びの場」
- 公平性・専門性・倫理性を重んじる組織
- 「ロータリーは奉仕団体であり、寄付団体ではない」

■ ロータリーの沿革

- 高潔性・倫理向上・超我の奉仕を理念に創立
- ライオンズクラブの「We Serve」と異なり、ロータリーは奉仕の哲学を重視

■ 日本のロータリー

- 地域社会に根ざした活動を展開
- 世界のロータリーと連携しながら独自の発展を遂げている

2. 親睦(交流)の大切さ

- ロータリーの魅力の根幹
- 異業種の専門家が公平な立場で交流
- 年齢・職業を超えた尊敬と友情が生まれる

3. ロータリーの5大奉仕

1. クラブ奉仕
2. 職業奉仕
3. 地域社会奉仕

第2分科会

4. 国際奉仕(世界奉仕)
5. 青少年奉仕

■ 奉仕理念(決議 23-34 より)

- ローターリーは「利己心と奉仕心の矛盾を調和させる人生哲学」
- 「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」

■ ローターリーの重点分野(7分野)

1. 平和構築と紛争予防
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 地域社会の経済発展
7. 環境の保護

4. ローターリーの魅力(クラブの魅力)

- 世界 120 万人のネットワーク
- 異業種の専門家との交流
- 社会奉仕を通じた自己成長
- 生涯の友情が生まれるコミュニティ
- 世界中のクラブを訪問できる国際性

5. ローターリー財団と My ROTARY の活用

■ ローターリー財団の役割

- ポリオ根絶
- 平和フェローシップ
- 教育・医療・貧困支援など世界的プロジェクトを支援

■ My ROTARY を活用しよう

- 会員向けオンラインプラットフォーム

第2分科会

- 学習(ラーニングセンター)
- 奉仕プロジェクトの情報
- 世界のロータリアンとの交流
- 自分のスキルを活かせる委員会活動の参加

「会員一人ひとりがクラブにもたらすスキル、経験、熱意が世界に変化をもたらします」

■ ロータリーでの体験を深める方法

- クラブ委員会に参加
- 奉仕活動を提案
- 青少年奉仕プログラム(インターアクト、RYLA)支援
- 友人・同僚に入会を勧める
- 他クラブ訪問、オンライン例会参加
- 趣味・専門分野の国際的グループに参加
- ロータリー友情交換への参加



総合まとめ(最重要ポイント)

1. ロータリーは「奉仕」と「親睦」を軸にした職業人の国際的コミュニティ
2. 5大奉仕と7つの重点分野を通じて地域と世界に貢献する
3. 決議23-34が示す奉仕理念はロータリアンの根幹
4. My ROTARYを活用することで学びと交流が大きく広がる
5. ロータリーの魅力は、